

編集後記

1964年に慶應義塾大学の佐々木正は掌蹠膿疱症を伴った両側鎖骨骨髓炎の症例を報告しています¹⁾。この論文では鎖骨骨髓炎の起炎菌が掌蹠膿疱症を引き起こしたのではないかと、という考察になっていますが、その後、東京大学の園崎秀吉らはこの病態を詳細に解析し、「掌蹠膿疱症性骨関節炎 (pustulotic arthro-osteitis; PAO)」という新たな disease entity を確立して、多数の臨床例を報告するとともに、その臨床像や病態を世界に先駆けて報告しました²⁾。しかしながら欧米では掌蹠膿疱症が膿疱性乾癬の亜型と考えられていたこともあって、PAOは乾癬性関節炎 (psoriatic arthritis; PsA) の一部とみなされ、わが国におけるこれらの先駆的な仕事が正当な評価を受けておらず、大変残念なことです。園崎らはPAOがしばしば脊椎炎を伴うことも報告していますので、この病態もまた現在では脊椎関節炎 (spondyloarthritis; SpA) の一型に分類することができるでしょう。

さて、本号では埼玉医科大学の門野夕峰先生にご企画をいただき SpA を特集として取り上げました。乾癬性関節炎、腸炎に伴う関節炎などを、付着部炎や脊椎炎を伴う炎症性疾患という括りで強直性脊椎炎と同じグループに属する疾患として扱おう、という発想は最近になって出てきたものです。Wikipediaによれば、フランスの皮膚科医 Jean-Louis-Marc Alibert が 1818 年に乾癬に関節炎が合併することを最初に記載した、とされていますので、SpA という病態の認識は

関節リウマチ (RA) よりも古いのですが、病態解明や治療法開発については RA が断然先行しており、SpA については 21 世紀に入るまであまり大きな進歩が見られませんでした。しかしこの分野は近年大きな注目を集めており、目覚ましい進歩を遂げています。そしてその原動力となっているのが生物学的製剤をはじめとした新たな治療薬の登場であることは疑いありません。RA と同様に SpA においても抗 TNF α 抗体などが高い有効性を示すことが明らかになっていますが、興味深い点は RA と SpA では有効性を示す薬物が多少異なるという点です。例えば抗 IL-6 受容体抗体であるトシリズマブは RA に対しては有効性が確立されていますが、SpA に対しては効果が明らかではないことが知られています。一方で IL-23/IL-17 を標的にした治療薬は SpA に対しては極めて有効ですが、RA に対する効果は限定的です。いずれも自己免疫が関与しているにも関わらず、このような治療反応性の違いは極めて興味深く、これらの病態の免疫学的背景の差異を表していると考えられます。本特集を通じて、新たな展開を見せるこの分野に興味を持っていただければ幸いです。

1) 佐々木正：臨整外 2：333-337, 1967

2) Sonozaki H et al：Ann Rheum Dis 40：554-557, 1981

(田中 栄)

「整形・災害外科」第 60 巻 第 12 号 (11 月号) 2017 年 11 月 1 日発行 (毎月 1 回 1 日発行) 定価 (本体 2,500 円 + 税) 年間購読料金 定価 (本体 39,400 円 + 税) 〔年間 13 冊 (臨時増刊号, 増大号を含む) の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 福村直樹 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 TEL 03 (3811) 7165 [編集室直通] TEL 03 (3811) 7184 [営業部直通] FAX 03 (3813) 0288 http://www.kanehara-shuppan.co.jp 振替口座 00130-1-191269 印刷所 三報社印刷株式会社 広告申込先 福田商店 TEL 06 (6941) 5600
---	---

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権 (送信可能化権を含む)、二次的著作物の利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY** <(社)出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail:info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。